

## 「ゼロカーボンシティ 行橋」宣言

近年、世界各地で気候変動の影響による大規模災害が発生しており、さまざまな環境問題に直面しています。我が国においてもこれまでに経験したことのない豪雨や、巨大台風等による甚大な被害が発生しています。

2015年のパリ協定において「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が設定され、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、この目標を達成するためには「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要」との見解が示されました。2020年には、当時の総理大臣により「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、全国規模で脱炭素社会の実現に向けた機運が醸成されつつあります。

行橋市は、今年、市制創立70周年を迎えます。先人から受け継いだこの環境(バトン)を、次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、行政だけでなく、市民や事業者の皆様とともに新たな行橋市を『協創』し、一体となって取り組むことを宣言します。

令和6年3月27日

行橋市長 工藤政宏

